

各 位

会 社 名 品川リフラ株式会社

代表者名 代表取締役社長 藤原 弘之

(コード番号 5351 東証プライム、札証)

問合せ先 IR・広報部長 仮屋崎 勉

(TEL. 03-6265-1600)

# 固定資産の譲渡及び特別利益の計上 並びに連結業績予想の修正及び個別業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2025年11月11日開催の取締役会において、当社所有の固定資産の譲渡を決議いたしましたのでお知らせいたします。

また、これに伴い、2025 年8月8日に公表いたしました 2026 年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。なお、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、2026 年3月期の通期個別業績見込みと前期実績値との間に差異が生じる見込みとなりますので、併せてお知らせいたします。

記

#### 1. 固定資産の譲渡及び特別利益の計上について

## (1) 譲渡の理由

譲渡資産は当社相模工場を閉鎖後、賃貸土地として活用しておりましたが、有利子負債の返済による 財務体質の強化と、持続的な成長に向けた投資資金の確保を目的として、譲渡することといたしまし た。

#### (2) 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	土地面積	譲渡益	現況
土地 神奈川県座間市小松原二丁目 5245-1 他	21, 868 m²	約 4,657 百万円	賃貸土地

- ※1 譲渡価額、帳簿価額については、譲渡先との取り決めにより非開示とさせていただきますが、市場価格を反映した適正な価格での譲渡であります。
- ※2 売却益は、譲渡価額から帳簿価額と譲渡に係る費用等の見積り額を控除した概算額です。

## (3) 譲渡先の概要

譲渡の相手先(国内法人)については、相手先との取り決めにより非開示とさせていただきます。な お相手先と当社との間には特筆すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

#### (4) 譲渡の日程

取締役会決議日	2025年11月11日
契約締結日 (予定)	2025年12月19日
物件引渡日 (予定)	2025年12月19日

## (5) 業績に与える影響

当該固定資産の譲渡に伴い、2026年3月期の連結及び個別財務諸表において、固定資産売却益約4,657百万円を特別利益に計上する見込みです。

## 2. 連結業績予想の修正について

2026年3月期通期の連結業績予想数値の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	176, 000	23, 000	14, 500	14, 500	8, 500	186円39銭
今回修正予想(B)	176, 000	23, 000	14, 500	14, 900	13, 000	284円88銭
増 減 額 (B-A)	0	0	0	400	4, 500	98円68銭
増減率(%)	0	0	0	2.8	52. 9	_
(参考) 前期連結実績 (2025年3月期通期)	144, 072	17, 953	13, 278	13, 655	9, 778	214円48銭

#### <修正の理由>

2026年3月期通期の業績につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益が「1. 固定資産の譲渡及び特別利益の計上について」に記載のとおり、固定資産売却益を特別利益として計上する見込みとなったこと、経常利益については為替差益の増加が見込まれることから、通期業績が前回予想を上回る見通しとなりました。これらを踏まえ、業績予想の修正を行うことといたしました。

なお、上述のとおり、当該固定資産の譲渡による収入は有利子負債の圧縮に充当する予定であるため、 2025年5月15日に公表しました年間配当予想90円00銭については変更いたしません。

今後も、不動産等の資産売却を進めることで健全な財務体質を維持しつつ、成長戦略を着実に推進し、 企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

## 3. 個別業績予想の公表について

通期個別業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)と前期実績値

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	_	_	_	_	_
当期業績予想(B)	85, 500	7, 500	10, 500	12, 500	273 円 92 銭
増 減 額 (B-A)		_	_	_	_
増減率(%)		_	_	_	_
前期実績	85, 410	7, 367	8, 666	7, 493	164円38銭

## <差異の理由>

2026年3月期の個別業績につきましては、上述のとおり、固定資産売却益を特別利益として計上する見込みとなったことから、当期純利益は前年度実績を大きく上回る見通しです。

以上